

鬼頭きとう天皇てんわうは本覚寺ほんかくじの東南竹林院ちくりんみんの堂内にあり。〔正安二年の春、後伏見院ごふしめん北山に御幸ありし時、北面葛原兵部重清ほくめんくつひやうぶしげきよ供奉し、朝霧あさぎりといふ官女を見初、連理の交をなす。父これを制して又八重姫やへひめを娶に、朝霧あさぎりふかく嫉水食を断て死す、重清しげきよこれを菩提の種とし出家を遂、紀伊国二鬼島きいのききまへ赴き、庵を結び苦楽坊くらくぼうと号し行ひすまして居たりける。然に疫病をうけて苦惱す、時に朝霧あさぎりが亡魂鬼女と現じ、苦楽坊の頭を撫れば忽平癒す、功つもりて共に成仏し、末代其証として頭をのこし鬼頭きとう天皇と号しける〕